

**調査名称** : [JAniCA]AI技術に関するアンケート

**調査対象** : アニメ作品のクレジットに記載される、または、アニメ制作会社で勤務されている方。監督、演出、キャラクターデザイン、作画監督、原画、レイアウト、第2原画、動画監督、動画、色彩設計、色指定、仕上げ(着彩)、仕上げ検査、美術監督、背景美術、撮影監督、撮影、3DCG、制作進行、制作デスク、プロデューサー、経営者(経営層)、システム、経理など。

**調査期間** : 2024年09月26日～11月30日

**調査方法** : オープン型 インターネット調査

**有効回答数** : 33件

**調査実施** : 一般社団法人日本アニメーター・演出協会(JAniCA)

ご自身の職種	今後10年で生成AIの普及度	生成AIで代替して欲しい事	生成AI使用への期待や懸念や疑問
監督	30%程度	ない	サンプルとしてアニメーターさんや漫画家さんの絵が大量に無断で学習されていて、それを表に出すのはやはり良くないと思います。
監督	50%程度	コンテの大ラフをラフ程度にブラッシュアップして欲しい	プリプロで使うなら有りかと思う。フィニッシュに使わない前提が基本か
助監督	50%程度	ロバクシートと音声の自動合わせ	ドンドン発展して欲しい
演出	30%程度	ない	一見すると使えるように見えても、よく検証(チェック)すると使えない上りがりを大量に出してくるスタッフ、制作会社が出現してきそうで嫌な予感がしています。
演出	50%程度	ない	動画や彩色といった繰り返しが多い作業はAIで置き換え可能になる部分も出てくるのではないのでしょうか。現に自動中割りなどは昔から研究されていますので。
演出	50%程度	タスク管理やアイデア出し等のアシスタント	画像生成に関しての期待もあるのですが、どちらかという制作工程管理についての親和性が高いと思うので、そこに大きく期待したいです。画像生成に関しては権利関係はどんどんクリアになってきているのでそこに関しては心配はしていません。テクノロジーに関しては最初は忌避感でるのは仕方ないのですが、そこはもうちょっと業界的に俯瞰して捉えられるようになれば、業界全体の人手不足に大きく貢献してもらえようと思います。
絵コンテ	わからない・予測できない	ない	経済産業省は10月10日に日本アニメ産業へのAI導入に補助金を出す決定をしております。日本アニメ産業を過酷な労働環境の中何と支えてきた人々に対し、何の説明もなくリスクベクトルもありません。最後の一人が納得するまで説明会などを行う努力もしてもらえず、横暴極まりない。断じてこのような状況を許すべきではありません。まったく信用できない。
キャラクターデザイン	70%程度	ラフ原芝居(原図含め)の作成	メーカーのAI使用に対する発注単価の引き下げ(談合)
メカデザイン	10%程度	三面図などからパースを生成する機能があると助かります	アニメの国際展開が進む一方で、輸出先でAIの法規制が進んできていますので、国内での安易な使用は先々の輸出の大きな障害になると考えています。本邦の法整備がどうなるかは分かりませんが、私は今後も業務に使わないつもりです。
作画監督	50%程度	ない	仕事が無くなりそうな気がします…。不安です。仕事は大変でもありますが、やりがいもあります。やりがいも奪われてしまうと、仕事をやる、生きるって何なんだろうな…と思います。(←アニメ業界に関わらずとは思いますが)
作画監督	わからない・予測できない	ない	現在の生成AIは他者の創作物を無許可で自動学習したもものから出力されるということなので、まずその辺りが解決されてほしいです。
レイアウト原画	10%程度	ない	現状の生成AIのデータセットは無断学習されたものが前提になっており、何らかの規制や法整備の必要があります。まずはそこをクリアしてからどう活用するか議論がやってくるかと考えます。心情的にもアニメ業界は沢山の漫画家さんや小説家さんやイラストレーターさんなどのオリジナリティが生み出した作品によって支えられてきました。現状の生成AIを使用することでその方達が苦しむことがないよう敬意を持って今後も関わらなければならないと思います。アニメ業界自体も沢山のスクショなどを無断で学習されているなど対応した方が良い問題がすでに起きているので何らかの対応や呼びかけが必要に感じます。一作者としても今後AIがどのようなことに活用されるかは非常に不安視しております。
レイアウト	50%程度	キャラ表や作監修正をもとに、自分が描いたラフな絵から原画を作成する。	使用範囲を限定すれば問題はないと考えます。
原画	10%程度	距離の近い中割り	海外の無断転載サイトから無断でデータを集めて作られている技術であるのでどれだけハイクオリティでも許されることではないと思います。著作物を利用する場合は必ず許可が必要なのは常識だ思っております。データ元がクリーン(著作権が切れていた)許可が取れたもので作られたAI)であれば利用して見たい気持ちもあります。ですが現状では使うという段階にありません。
原画	10%程度	タイムラインや割指示からタイムシートの作成をして欲しい。	知り合いの制作進行が文章の生成AIを利用して、AI技術を完全肯定していて、作画もAI使えばいいのって意見を持っていました。例えば、作画マンがAI技術を持ち出すんじゃないかと、会社側がAIの使用を指示してきたら嫌だなと思いました。
原画	10%程度	事務作業	美術や音楽などの人生を豊かにする物にAIはいらない不要人が生まれてくる意味が無くなるね。認めるなら安楽死も同様に認めるべき
原画	10%程度	ない	タッ割などを機械にやってもらえたら助かる。
原画	30%程度	ない	5年前後くらいにはアニメ制作の世界にも使用されるようになると思います(アニメーターが少なくなるので必然的にそうなる)
原画	70%程度	原画と中割り	生成AIを製作するソフトが違法に著作権ありの画像を取り込んでいる場合には排除する、という事を行えるか?単純に生成AIに対する嫌悪感もあり。
原画	70%程度	ない	生成AIで遊んでみているのですが、世の中のひがこのくらいの画面や動きでも良いと受け入れられていくなら、いくなら、そこに合わせていくまでかなとも思っています。
原画	わからない・予測できない	キャラ似せや事務的な処理や指示出し	嫌いです。
原画	わからない・予測できない	ない	嫌い
第二原画	10%程度	ない	倫理的な問題、技術の不継承繋がると予期されること
第二原画	50%程度	ない	手描きの作画と相容れないものと思っています。
動画監督	10%程度	タイムシートの記入作業	AIという技術上の問題点として「学習用データを膨大に必要な為、無許可転載複製物を内包している」現在の生成AIはシステムとしてはよく出来ているものの、法や論理といった点においての問題点が一審しいところかと思えます。たとえその問題点が解決できたとすれば「本当に解決できているのか」という不安感や不信感が残るのが現状です。
動画監督	10%程度	伝票を整理して請求書を作成する、確定申告に必要な書類の作成と言った雑務	AIによる技術革新は妨げられないものだと思うし、使いようによっては自分たちの仕事の手助けとなる素晴らしい技術であると思う。ただそれによって他者の権利が侵害されることはあってはならないと思っています。作り手側のモラルとしてそのような他人の知的財産を罪悪感なく盗用する作品が出てこないことを願う他ないと感じています。
動画	30%程度	ない	現段階では生成AIを利用するのは絶対反対です。今後も生成AIが画像生成検索エンジンでしかない以上、これをアニメーションに転用するのは反対です。生成AIではない別の技術で代替可能だと思うからです。現段階の生成AIはポルノ画像が含まれていたり、個人作家の絵を窃盗したデータでしかないというはもちろん問題です。もし生成AIを推奨する会社がアニメーション業界に目をつけているとしても、彼らはイナゴであり、アニメーションへの愛とリスクベクトルを持っていないだろうという、そう言った印象の悪さも有しています。
動画	わからない・予測できない	下書き線の削除や髪や毛に隠れる目や眉の消去など	資金の必要な取り組みのため、委員会やメーカーなどが現場のために資金を出して取り組んでほしい(どのデータベースからAIがそれを生成したのか、ということが現在不明、または不安であることが使用をためらう理由にもなっていると考えます。安全に使用できるAIであることや、そのための法整備のスピード感に期待したい/仕事を奪われる不安を感じる作業員に対してのケア、AIの結果判断作業は人が必要のため、AIへの理解や判断精度の向上のための取り組みが欲しい/作業員の杖的なものや自分の手の届く範囲が広がるといった使用の仕方のツールを作ることを検討してほしい
色指定	70%程度	作品に関わる作監の絵柄を学習させてTP修やキャラ修をより良く出せそうに気がする。	学習させた元の創作者に金が行く行かないが問題であって、生成AIは使われると思います。成長するかしないかわからない人間の可能性に頼るより、結果を出せるものに産業は頼ると思います。
背景美術	わからない・予測できない	背景作業	海外へ出さなくてよくなるので修正が楽になりそうですが、著作権違反が増えそうな不安がある
制作進行	30%程度	情報収集、またその情報の取捨選択のための情報収集	資金の必要な取り組みのため、委員会やメーカーなどが現場のために資金を出して取り組んでほしい(どのデータベースからAIがそれを生成したのか、ということが現在不明、または不安であることが使用をためらう理由にもなっていると考えます。安全に使用できるAIであることや、そのための法整備のスピード感に期待したい/仕事を奪われる不安を感じる作業員に対してのケア、AIの結果判断作業は人が必要のため、AIへの理解や判断精度の向上のための取り組みが欲しい/作業員の杖的なものや自分の手の届く範囲が広がるといった使用の仕方のツールを作ることを検討してほしい
制作進行	30%程度	ない	イラストコンテストでも生成AIがノミネートされ手書きやデジタルで頑張っている人が報われないなど実害も出ているので使用を規制してほしい。将来的にアニメ業界で使用されても誰かが直す負担が増えるだけであまりいい効果はないように思える。
撮影の管理業務、経営者の補佐	50%程度	原画素材の切り抜き、素材入れのタイミングやピークタイムの予測	今現在も含めて、関わるスタッフがAI等の技術についてどの程度学習するための時間を捻出できるかが課題だと思う